

令和2年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和2年12月25日(金曜日)

○日時 令和2年12月25日 午前10時53分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算中、所管分

○出席委員(7名)

委員長	永本浩子
副委員長	近藤憲治
委員	金兵智則
	工藤英治
	平賀貴幸
	古田純也
	村椿敏章

○欠席委員(0名)

○委員外議員(1名)

議長	井戸達也
----	------

○傍聴議員(6名)

石垣直樹
小田部照
川原田英世
澤谷淳子
松浦敏司
山田庫司郎

○説明者

副市長	川田昌弘
健康福祉部長	桶屋盛樹
財政課長	古田孝仁
健康推進課長	永森浩子
社会福祉課長	江口優一
社会福祉課参事	結城慎二
介護福祉課長	高橋善彦
健康福祉部参事	細川英司

○事務局職員

事務局長	武田浩一
次長	伊倉直樹

総務議事係長 神谷浩一

総務議事係主査 寺尾昌樹

午前10時53分開会

○永本浩子委員長 ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、付託されました議案1件を審査いたします。

それでは初めに、議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、当委員会所管分のうち、障がい福祉サービス事業者応援金給付事業の説明を求めます。

○結城慎二社会福祉課参事 議案資料6ページを御覧願います。

令和2年度一般会計障がい者福祉費、障がい福祉サービス事業者応援金給付事業の補正予算について御説明いたします。

1の補正の理由及び内容であります。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、感染防止対策を行う障がい福祉サービス事業者に応援金を給付するため、必要な経費を追加補正するものであり、金額は480万円となります。

北海道においては秋以降、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加し、その中であって高齢者や障がい者が利用する施設及び事業所においても、複数のクラスターが発生している状況であります。

本事業は、こうした中でサービス提供体制とサービス利用者本人や家族の安心安全を確保するため、様々な取組を行っている市内の障がい福祉サービス事業者に応援金を給付するものです。

2の補正額であります。事業費480万円の財源内訳につきましては、(1)歳出予算に記載のとおり全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するものであります。

歳入予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、(2)歳入予算に記載のとおりとなります。

事業の概要であります。応援金の給付は、本年8月に給付した障がい福祉サービス事業者支援金を受給した18法人39事業所を対象といたします。

応援金の額は、各事業所が提供している1サービス

ごとに10万円とし、単一事業者で運営している事業所が複数のサービスを提供している場合の給付の上限額を50万円といたします。

説明は以上でございます。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○村椿敏章委員 この給付金ですけれども、事業者の状況について把握されて、または希望が出ていたとか、そのようなことはあったのでしょうか。

○結城慎二社会福祉課参事 この事業、この給付金につきましては、先ほども申し上げました、秋以降の北海道の道内における新型コロナウイルスの感染症の状況、そして、北海道が各事業所に対して集中的な取組を現在求めているところでございます。

網走市においても様々な取組、各事業所において実施をしてきているところでございまして、そうしたこれまでの努力、あるいはこれからの取組に対して応援金を支給するというものでございます。

事業者からの希望ということではなくて、応援金を支給するというものでございます。

○村椿敏章委員 わかりました。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○金兵智則委員 すみません、ちょっと確認をしたいのですが、先ほど8月に支給をした18法人39事業所が対象というふうな御説明でよかったですかね。

○結城慎二社会福祉課参事 18法人39事業所でございます。

○金兵智則委員 ごめんなさい、障がい福祉サービス事業所一つ当たり10万円だったら、390万円になるのかなと思うのですが、それはどういったことなのでしょう。

○結城慎二社会福祉課参事 一つの事業所の中で、複数のサービスを提供している場合があります。

ですから10万円の単位は、事業所の中で行っている1サービスごとに10万円ということになりますので、39事業所が行っている65のサービスに対して480万円、通常でいくと650万円になるところですが、御説明の中で申し上げたとおり50万円の上限をつけておりますので、480万円になるということです。

○金兵智則委員 わかりやすい説明ありがとうございました。

8月に一度支給されているということで、何の申請もなくというか、もう一度そのまま支給するのだ

と思うのですが、時期的にはいつ頃になるものなのでしょうか。

○結城慎二社会福祉課参事 現在こちらで想定しているのは、8月の段階で申請をいただいている事業者の本応援金の給付に当たっての申請は、免除しようというふうに考えております。

その上で、補正予算が通りましたら、年内、来週月曜日に支給をとということで考えております。

○金兵智則委員 一日も早いほうが良いなというふうな考えでもありましたので、そのように進めていただければなというふうに思います。

以上です。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですのでお諮りいたします。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、障がい福祉サービス事業者応援金給付事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではそのように決定されました。

次に移ります。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、介護サービス事業者応援金給付事業について説明を求めます。

○高橋善彦介護福祉課長 それでは、議案資料7ページを御覧願います。

令和2年度一般会計高齢者福祉費、介護サービス事業者応援金給付事業の補正予算につきまして、御説明をいたします。

1の補正の理由及び内容であります。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、感染防止対策を行う介護サービス事業者に応援金を給付するため、必要な経費を追加補正するものであり、金額は550万円となります。

北海道におきましては秋以降、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加し、その中であって高齢者や障がい者が利用する施設及び事業所においても、複数のクラスターが発生している状況でございます。

本事業は、こうした中でサービス提供体制とサービス利用者本人や家族の安心安全を確保するため、様々な取組を実施している市内の介護サービス事業者に応援金を給付するものでございます。

2の補正額であります。事業費550万円の財源

内訳につきましては、（１）歳出予算に記載のとおり、全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するものであります。

歳入予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、（２）歳入予算に記載のとおりとなっております。

３の事業の概要であります。応援金の給付は本年８月に給付し介護サービス事業者感染症対策支援金を受給しました、24法人36事業所を対象といたします。

応援金の額は、各事業所が提供している１サービスごとに10万円とし、単一事業所で運営している事業所数が複数のサービスを提供している場合の給付の上限額を50万円とするものでございます。

説明は以上でございます。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○金兵智則委員 端的にここも申請の方法と給付の時期について、お伺いしたいというふうに思います。

○高橋善彦介護福祉課長 先ほどのですね、障がい者福祉サービスと同様にですね、申請に関しましては、みなしということで申請を受けずにですね、来週の月曜日に給付する予定で考えております。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○村椿敏章委員 前にも聞いたと思うのですが、介護サービスの利用状況の変化というのですかね、ぐっと減っているとか、そういうことでの影響はないのでしょうか。

○高橋善彦介護福祉課長 介護サービスの現在の利用状況でございますが、引き続きですね、通所系の事業所につきましては、やはり利用控えというところがあるようでございますが、一時期に比べましたら回復傾向にあるというふうに伺っております。

○村椿敏章委員 わかりました。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですのでお諮りいたします。

議案第１号令和２年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、介護サービス事業者応援金給付事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではそのように決定されました。

次に移ります。

議案第１号令和２年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、医療機関等応援金給付事業について説明を求めます。

○細川英司健康福祉部参事 議案資料８ページを御覧願います。

令和２年度一般会計健康管理費補正予算、医療機関等応援金給付事業につきまして御説明いたします。

１の補正の理由及び内容であります。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、医療機関等に応援金を給付するため、必要な経費を追加補正するものであり、金額は860万円となります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、全国的に新規陽性者数が増加し、北海道におきましても医療施設等でクラスターが発生するなど、対応の長期化と収束が見えない状況にありますが、医療提供体制及び市民の安心安全を確保するため、感染リスクの高い医療等の現場におきまして、適切な感染防止対策を講じ、あらゆる患者の受診や治療に当たっている市内の医療機関等に対し応援金を給付するものであります。

２の補正額であります。歳出予算における補正前の額、補正額、財源内訳、補正後の額につきましては、（１）歳出予算に記載のとおりとなります。

歳入予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、（２）の歳入予算に記載のとおりとなります。

３の事業の概要であります。応援金の給付対象は、本年８月の医療機関等感染症対策支援金を受給した市内の医療機関等となり、公立病院を除きまして41カ所に給付いたします。

応援金の給付額は、感染症指定医療機関が100万円、病院が50万円、診療所及び歯科医院が20万円、整骨院が10万円となります。

説明は以上でございます。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○金兵智則委員 こちらも同様に、申請方法と時期についてお伺いしたいというふうに思います。

○細川英司健康福祉部参事 本件につきましては、先にありました障がい福祉サービス、介護サービスと同様に申請につきましては免除する形で、給付につきましては来週の月曜日28日を予定しているところでございます。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○平賀貴幸委員 関連して幾つか聞くのですけれども、医療機関をこうやって応援するという形は非常にいい取組だと思いますが、昨日や一昨日にも報道がいろいろあつたりするのですけれども、この医療従事者の家族の受診拒否などがですね、生じていてというのが、結構全国であるのだということで報道されていたのですけれども、網走ではそういうことはないんじゃないのかなと信じたいのですけれども、どんな状況ですか。

○細川英司健康福祉部参事 これまでのところ、私どものほうにそういった連絡が入っているという例はございません。

○平賀貴幸委員 そうということが起きないということも大事なので、引き続き状況を見て取り組んでいただきたいと思いますのですが、あと今回はきっとその応援金ですから、使い道は自由ということで理解していいと思うのですけれども、今の状況だと早ければ来年2月には、ワクチンの接種などが医療従事者や高齢者を中心に始まるというお話も伺っているところなのですけれども、今回はそのための予算ではなくて、自由に使っていいという理解でいいのかということと、併せてそれはそれで、別途市としては何らかの支援をしていく考え方を持っているのかどうか、ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

○細川英司健康福祉部参事 今回の応援金につきましては、委員お見込みのとおりでございます。

それからワクチンに関しましては、まだ細部が整っていない部分もございまして、この後様々医師会と協議をしているところでございますので、さらに細部のいろいろな情報等が決まってきましたから、また協議を重ねましてなるべく順調にスタートを切りたいと考えながら進めているところでございます。

○平賀貴幸委員 かなりの低温で保存しなければいけないとか、ちょっと特殊なものなので、当然予算も必要になるのだろうなと思ったものですから、できるだけそこはスムーズにいくようにしていただきたいなと思います。

あとは市民の皆さんが、医療機関がどうなのかとか、実際に感染症が網走市内、あるいは家族で起きたときにどうするのかということに対して、いろいろと心配を持たれているのだと思います。

市でも折り込みチラシやホームページなどで、い

ろいろな形で取り組まれていますけれども、今後ですね、少しでもその不安を和らげる、特にその年末年始の状況が危ぶまれるということが、あれだけ報道されていれば、余計不安になるというのが市民感情だと思うのですよね。

そこを和らげるため、あるいは不安を取り除くための情報提供など、ぜひやっていただきたいと思うのですけれども、どんなことを考えているのか、明らかにできることがあれば、出していただきたいと思います。

○細川英司健康福祉部参事 市民の安心安全を確保するための情報提供につきまして、28日の月曜日に配布の予定でチラシを配布することとしております。

それと、年末年始の医療機関の情報等につきましては、休日当番病院制度ということになるのですけれども、そちらにつきましても、市の広報紙などには既に掲載をいたしておりますけれども、プラスアルファと申しますか、市内全戸配布になります広報紙等に記事を広告として掲載する予定で、市民周知を図っていくことにいたしております。

○平賀貴幸委員 適時そういう取組をしながらですね、少しでも市民の皆さんの不安が和らぐ、あるいはいざというときにどこをどうしたらいいのかというのがわかるというような状態を、ぜひ引き続きつづけていただきたいというふうに思います。

以上です。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですのでお諮りいたします。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、医療機関等応援金給付事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではそのように決定されました。

以上をもちまして、文教民生委員会を閉会いたします。

お疲れさまでございました。

午前11時11分閉会